

留学だより vol.3

November

天の原ふりさけみれば春日なる三笠の山に出でし月かも。中国どころではなく地球の反対側まで行ったのに月はまだ同じ顔をしています。13期生の増田です。今回は、11月の近況とだいぶ時間が経ちましたがハロウィンのことを書いていきます。

1. Jack-o'-Lantern

ハロウィン一週間前に、隣町 Sturgeon Falls の畑に行っにかぼちゃを3個選んで買いました。大体の重さごとに値段が決まっていますが、欲張って大きいものを買おうと、重すぎてよほど力持ちでないと車に載せることができません。



左は文字通り山積みのかぼちゃ。大人の身長くらいの高さがありますが、重みのせいでどのかぼちゃも凹んでいます。右は町で今年最大のかぼちゃで、左側のかぼちゃと比べると5倍以上あります！

ちなみに Jack-o'-Lantern の o' は of の略で、o'clock と同じ使い方です。Jack of Lantern は天国にも地獄にも行けず彷徨うランタンを持ったジャックのことで、西洋では元来カブでできていたランタンがアメリカではかぼちゃになって広まりました。

かぼちゃのくり抜き(carving)には特別な技術はなく、ナイフで上部を蓋のように取り外し中の種や果肉をくり抜いた後、目や口を作ります。



↑左から買った直後、中身をすべてくり抜いた後、口を切り取る瞬間、完成の写真



↑一つの顔はハロウィン前日にリスに食べられていました…実はリスはカナダでは害獣扱いです

玄関に置いて家を訪れる子供たちを出迎えます。ハロウィンが終わると、衛生的によくないので捨てる…と思いきや近所の林に置いて鹿に食べてもらうそうです。

2. せっかくなので仮装

ハロウィンといえば忘れちゃいけないのが仮装です。日本でハロウィンを祝ったことなど一度もないのですが、せっかくなのでコスチュームを買いに行きました。Walmart は季節物の棚が仮装や大きなバルーンお化けで埋め尽くされ、なんとモールにはハロウィン専門店がありました。大体仮装一セット 60\$ (6,480 円くらい) で結構お高め、キャラクターからゾンビまで、かなり本格派なお店でした。高いけど。



↑日本の漫画キャラの仮装も。怖くないどころか怖がっている Anime Mask、異彩を放っています。

学校には生徒だけでなく教員も仮装して出席し、4時間目には Fall Fest でミニゲームをして楽しめます。洋画の主人公、俳優、赤ちゃん、ゲーム・アニメキャラと仮装の幅は広く、去年は世界で流行した韓ドラ「イカゲーム」の仮装がほとんどだったそう。ちなみに私は Walmart で恐竜のつなぎを買ったものの、個性がないので文字を書き加え、前日の夜にホストの持っていた針と糸で黙々と裾上げしていました。



左から Deviled Egg (料理の名前)、錯覚熊、Fall Fest、某アニメの再現が細かすぎるブレード、私の仮装

3. Trick or Treat! これぞハロウィン!

友達数人と高台にある家々を訪問して回ります。飾り付けがある家は訪問歓迎ということを示していて、ノックすると玄関でお菓子を配ってくれます。“Happy Halloween!”, “Trick or Treat!”, “Have a great night.” を忘れずに。飾り付けは近づくと呼び声が発したり映像を映したり精緻な彫刻だったりとても豪華でした。

Trick or Treat は子供の行事なので男子高校生がはしゃぐのはよろしくないのですが、あまり嫌な顔はされませんでした。私の身長が上手く作用した初めての機会です (ドアを開けたら学校の先生の家だった時と、玄関で小さい子が対応してくれた後 “They’re older than me.” と聞こえた時を除いて)。



豪華な飾り付け、一夜でできた袋3つ分のお菓子の山、一番多くお菓子を入れられると言われる pillow case. 玄関にお菓子を置いておいて、取っていらってもらう形式もあります。

4. 実は日本との時差が1時間増

DST/ Daylight Saving Time はイギリスでは summer time、日本ではサマータイム・夏時間と呼ばれる時間制度です。夏時間は、日の出・日の入り時刻が年間を通して大きく変わる中緯度地域において、夏の間だけ標準時より時間を一時間早めることで、日光の利用を最適化、エネルギーを節約するという意図で実施されています。

夏時間終了は、時刻をずらすことになるので皆が寝ている土曜日の深夜にこっそり行われます。今年は11月6日 2:00 am に時計の針が 1:00 am に巻き戻りました。

世界初の夏時間導入地域は1908年、なんとカナダ・オンタリオ州 Port Arthur でした。第一次世界大戦中の石炭節約や石油危機などがきっかけとなり普及します。日本ではGHQ 占領下で実施されましたが労働時間が伸びるなどの声から中止しました。

5. Lest we forget, Poppy Day



←ケシの造花には安全ピンはなく針だけ。1回無くしました。右は追悼日の数週間前から現れ始めた YouTube の広告です。

カナダの戦没者追悼日です。第一次世界大戦休戦協定の実効された11月11日午前11:00から3分間黙祷がありました。造花のケシの花 Poppy は追悼の意を示し、一週間程前から襟に着けますが、学校の若者はつけている人が少なかったように思います。造花の売り上げは退役軍人、傷痍軍人の支援に充てられます。

カナダは第一次世界大戦時には外交権がなかったため英国自治領として自動的に参戦、第二次世界大戦ではイギリスから独立した国として参戦しています（イギリス連邦に所属しているものの、独立を強調するため）。二回とも西部戦線に戦力を派遣しました。

11月8日も追悼日ですが、この日は特に大戦時積極的に戦地に派遣されたアメリカ先住民を悼む日になっています。気になる人は Tommy Prince という人を調べてみてください。第二次世界大戦と朝鮮戦争で First Nation の地位向上に貢献しました。

6. FAN-STACHE-TIC Movember

11月はNovemberとmoveをかけてMovember、男性の健康問題への認知を広め、寄付金を募る月でした。男性は癌罹患率や自殺率が女性に比べ高いようで、紳士を象徴する口髭(Mustache)をモチーフに寄付を募っていました。なんと募金額は2,300CADを超え、月終わりには男性教師陣がのびた髭を披露する集会やベイクセールが行われました。



7. Education Worker Strike



11月4日は学校関係労働者のストライキによって学校は休校となりました。スクールバス運転手や清掃員などで構成される労働組合 Canadian Union of Public Employees (CUPE) が、賃上げ率の要求が通らなかったこと、教育関係者のストライキを違法にする法案を通したこと等を受けて行いました。

その後ストライキが再度起こりそうな雰囲気が漂いましたが、無事和解しました。

8. ハロウィン所感

人生で一番楽しいハロウィンでしたが、同時にハロウィンの苦い側面も知りました。正直、Trick or Treatの風習は住民の厚意に頼りすぎていると思います。アメリカ式ハロウィンのTrick or Treatは本来小さい子供のための行事のはずなのに、正門を通らず人の庭や車道を走り回って、お菓子の量を競い合うように無愛想に家々を巡っていく輩が結構見られました(喉が渴いたから水をくれという人も...)。また、ほとんどの子供達はまだ明るいうちから、裕福な家の多い山の手の住宅街にやってきます。もちろん装飾を置かないことで拒否することもできますが、子供のいる家庭などは祝いたいでしょう。この考え方自体が日本的なのかもしれませんが、少なくとも私個人にとっては良いことだけのハロウィンではありませんでした。

9. 11月のその他イベント

若くして亡くなったホッケー選手 Noah Dugas を悼みドナー登録を呼びかける活動、Noah Strong(公式サイト <https://noahstrong.ca>)

11月の月はBeaver Moonと呼ばれ、皆既月食(Blood Moon or Total Lunar Eclipse)が11月に起こったのでThe Beaver Blood Moonがカナダでも深夜に見られました。(私は時刻を間違えて見られなかったので同期の布施くんの写真を使わせていただいております。)



更新が遅くなってしまいましたが、読んでいただきありがとうございます。 増田